

科目名	家 庭 基 礎	学科・学年・学級	普通科・1 学年・全クラス
		単 位 数	2 単位 （週 2 時間）
使用教科書・副教材等		[教科書] 家庭基礎 とともに生きる・持続可能な未来をつくる（第一学習社）	
		[副教材] 生活ハンドブック（第一学習社）	

1 学習目標

- (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する学習を通して、自立して生きるための基礎的な知識・技術を身に付けます。
- (2) 自分の家庭生活や地域の生活に関心を持ち、学んだ知識・技術を生かして、よりよい生活を創造する能力と実践的態度を養います。

2 学習方法

- (1) 講義、ワークシート、調理実習、視聴覚機器の利用、疑似体験、保育体験など、様々な学習形態を通して、家庭生活を営むために必要な知識や技術を実践的、体験的に学習します。
- (2) 実験・実習を通して分かったこと、気づいたことを自分の言葉でまとめ、発表をしたり、他者の発表を聞いたりすることで、考えを深めていきます。
- (3) ワークシートやプリントの保管・管理は重要です。きちんとまとめておきましょう。
- (4) 日頃からマスコミ報道に触れて、家族や家庭を取り巻く社会情勢の変化に気付き、常に問題意識を持つようにしましょう。
- (5) 授業で身に付けた知識や技術を日常生活で生かし、日々の生活の改善・充実に努めましょう。

3 学習評価

(1) 評価の観点と方法

	評 価 の 観 点	評 価 の 方 法
関心・意欲・態度	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けているか。	・学習状況の観察 ・ノートや課題の提出状況 ・作品、ホームプロジェクト
思考・判断・表現	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見だし、その解決を目指して適切に判断し、工夫し、創造する能力を身に付けているか。	・授業中の発表等の観察 ・ビデオ鑑賞等の感想 ・ワークシート ・ホームプロジェクト ・定期考査
技 能	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けているか。	・学習状況の観察 ・ワークシート ・実験、実習 ・作品、ホームプロジェクト
知 識 ・ 理 解	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けているか。	・ワークシート ・定期考査

(2) 各学期及び学年末の評価

各学期の評価は、定期考査、ノートや課題等の提出状況、作品、授業態度・出席状況等を総合して行います。

学年末の評価は、1・2・3学期の評価を平均することにより行います。

4 学習のポイント

- (1) 「豊か」と言われている現代社会では、生き方やライフスタイルなどの選択肢が多く、自分らしい生き方を創っていくことができますが、その分、自分自身で判断をし行動することが求められます。衣・食・住等に関する基礎的な知識や技術を身に付け、家族、地域とのつながりに基づいた、本当の意味での「豊か」な人生について考えていきましょう。
- (2) 日頃から、社会の状況や自分の生活に関心を持ち、課題を見つけ、改善や充実のための方法を考える習慣を身に付けましょう。
- (3) 授業で学んだこと、身に付けたことを生活の中で実践し、発展させていきましょう。

5 学習計画（予定）

月	学 習 項 目	学 習 の ね ら い	学 習 活 動
4	「家庭基礎」を学ぶに当たって 1章 これからの生き方と家族 1節 青年期 2節 家族・家庭と社会とのかかわり	・「家庭基礎」を学習する目的を理解します。 ・生涯を見通した中で青年期をどのように生きるかについて考えます。 ・男女が協力して家庭を築くことの意義と家族や家庭生活の在り方を考えます。	・1年間の学習内容を確認します。 ・自分自身のこれまでを振り返ります。 ・現在の自分の自立度をチェックします。 ・家庭・家族の役割を考えます。 ・職業と家事について考えます。 ・家族に関する法律について学びます。
5	6章 装う 1節 人の一生と被服 2節 被服材料と管理	・着用目的に応じて健康で快適な被服の選択と着装ができるようにします。 ・衣生活について自ら管理する知識と技術を習得します。	・毎日着用する制服を見直しその着装について考えます。 ・被服の安全性や衣生活に関する環境問題の現状を把握し、よりよい生活のために自分が実践できることを考えます。
6	小物製作 <期末考査> 小物製作	・小物製作を通して基礎的な縫製技術を習得します。	・小物製作実習をします。
7	10章 生活の充実・向上をめざして ホームプロジェクト	・学習を発展させます。	・作品を文化祭で展示します。 ・学んだ知識や技術を応用して、家庭生活の改善を図ります。 ・発表を通して相互評価をします。
8	2章 次世代をはぐくむ 1節 子どもの発達 2節 親の役割 3節 子育て支援と福祉	・乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもの育つ環境について理解し、子どもを産み育てることの意義を認識します。	・人間の誕生、成長について、自分自身の成長も踏まえて学びます。 ・乳幼児の生活を理解し、親の役割と子育て支援や子どもを育てる生活の楽しさと責任について考えます。
9	3章 充実した生涯へ 1節 高齢期を生きる 2節 高齢社会を支え合う 4章 とともに生きる	・高齢者の特徴と生活及び高齢社会の現状と課題について理解します。 ・ノーマライゼーションの理念を土台とした社会をつくることが重要であることを理解します。	・高齢者の自立生活を支えるために家族や地域及び社会の果たす役割を考えます。 ・共に支え合って生きる社会を成立させるための課題について考えます。
10	7章 住まう 1節 人の一生と住まい 2節 住生活の計画と選択	・安全で環境に配慮した住生活を営むことができるようにします。	・家族の生活と各ライフステージに応じた住居の条件について考えます。 ・安全で健康かつ快適な住居や地球環境に配慮した住居の性能について学びます。
11	8章 経済生活を営む 1節 私たちの暮らしと経済 2節 消費者問題を考える 3節 持続可能な社会をめざして 9章 生活をデザインしよう	・消費者として適切な意思決定に基づいて行動できるようにします。 ・生涯を見通した自己の生活について考え、主体的に生活を設計できるようにします。	・消費生活の現状と課題や消費者の権利と責任について学びます。 ・環境負荷の少ない生活について考えます。 ・将来の生活に向かって目標を立て、自分の目指すライフスタイルを実現するために生活を設計します。
12	<期末考査> 5章 食べる 1節 人の一生と食事 2節 栄養と食品	・生涯を通して健康で安全な食生活が営むことができるようにします。	・自分の食生活をチェックし、自立に向けた課題について考えます。 ・栄養と食事、食品と調理などに関する基礎的・基本的な知識と技術を学びます。
1	3節 食生活の安全のために 4節 食生活をデザインする調理実習		調理実習 1 スピード料理和風
2			調理実習 2 スピード料理洋風
3	<学年末考査>		調理実習 3 スピード料理中華

